

第4回福岡県国民保護協議会審議概要

1 日 時 平成27年3月11日(水) 11:20~12:10

2 場 所 福岡リーセントホテル2階 レインボーホール
(福岡市東区箱崎2丁目52番1号)

3 出席者 会長ほか委員(代理を含む)29名

4 議題及び議事

(1) 福岡県国民保護計画の変更について

事務局から説明を行い、了承された。(資料1、資料4)

(2) 平成26年度福岡県国民保護共同実動訓練について

事務局から説明を行った。(資料2)

(3) その他

【委員】

○国民保護について

- ・武力攻撃とかテロという、縁遠いという意識を持つ人は多いと思う。一般県民にも国民保護という言葉が浸透するような工夫をしてほしい。
- ・また、定期的に関係機関が情報共有する場をもつことが必要だと思う。

○他県との関わりについて

- ・たとえば、原子力施設の攻撃を想定した佐賀県との図上訓練などを行ったことはあるのか伺いたい。

○他分野の応用について

- ・国民保護措置は、佐賀伊東、他の分野にも応用できると思うので、訓練等、組み合わせながら行った方がよいのかなと思う。

【事務局】

○国民保護について

- ・定期的な情報共有については、訓練を通じて、定期的な関係機関の情報共有を図っていきたい。国民保護協議会においても、関係者の情報共有に努めていきたいと考えている。

○他県との関わりについて

- ・原子力関係の国民保護訓練については、訓練を通じて、定期的な関係機関の情報共有を図っていきたい。ただし、原子力防災訓練を佐賀県、長崎県、福岡県の3県合同で実施しており、国民保護においても活かせるのではないかと考えている。

○他分野の応用について

- ・災害の訓練についても、今も積極的に実施しているところであるが、今後、充実させていきたいと考えている。